

コンクリート工学 演習3 (配合設計)

1. 土木練習帳にある以下問題を解け。

練習問題 2-1

2-3

2-4

2.7

2. 下表に示す配合に基づいてコンクリートを練り混ぜた結果、空気量が4.0%となった。実際に練り上がったコンクリートの配合に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

ただし、セメントの密度は 3.16g/cm^3 、細骨材の表乾密度は 2.62g/cm^3 、粗骨材の表乾密度は 2.67g/cm^3 とする。

水セメント比 (%)	空気量 (%)	単位量 (kg/m^3)			
		水	セメント	細骨材	粗骨材
55.0	5.0	173	315	786	1007

- (1) 細骨材率は43.8%である。
- (2) 単位セメント量は 321 kg/m^3 である。
- (3) 単位細骨材量は 797 kg/m^3 である。
- (4) 単位粗骨材量は 1018 kg/m^3 である。